

手を取り合う未来

# 情けは人のためならずの湯

桐生  
みどり



## 【効能】

お互いの事情への配慮や思いへの理解が深まり、対話と協働、共助の精神が地域に根付くようになります。

## 【特徴】

じんわり温まる温度のお湯です。誰でも入りやすいようにバリアフリーな構造ですが、湯船の底や周囲は煙に覆われています。

## 【入浴方法】

煙で周囲が確認しにくいので、誰かと手を握って入りましょう。また、次の人が入りやすように手を差し出しましょう。

※「助けて！」と声を出す前に、たくさんの手が差し出されますので、どの手を取るべきか悩みます。恥ずかしがらずに手をとりましょう。

## 【対象】

孤独を感じている人や、つながりを活かして地域活動している人におすすめてです。

## 【成分】

このお湯の成分となる「未来の種」の一覧です。タイトルの下の括弧に、提案自治体名と関連テーマを記載しています。

### 『SDGs お店マップ』（桐生市／SDGs）

SDGsに取り組もうと思いついたとき、地球に優しいお店やサービスを探したいときに、誰でも、利用するとSDGsの取組につながるお店の情報を得ることができ。

### 『産官学で子育てのあり方を対話する場』（桐生市／居場所）

行政組織内で居場所づくりの意識を高める。行政の補助の基準を見直し、対象を絞らず困難に対処するリソースの提供を行う。例として、助成金活用に向けた企画の検討会議など、対話型の場を設ける。

### 『メディアを使った

皆でやる！地域の情報発信』（みどり市／移住定住）

地域全員が執筆する回覧板＋αのようなローカルメディアをつくる。その地域「ならでは」を表現するために、地域のいいところをまとめたツールを作成する。例えば、移住、二拠点居住している人の生活紹介や、地域のデメリットをまとめた「悪いところ図鑑」など。